

# クローバー

## こんにちは！つばさ小学校の皆さん

### つばさ小学校誕生

平成二十一年四月一日、駅周辺の再開発地域に、日進小学校、日進北小学校、宮原小学校より分離独立した形で、さいたま市で102番目の「つばさ小学校」が開校しました。四月八日には、開校式・始業式・入学式が挙行され、多くの人々に見守られるなか、新たな歴史が始まりました。五月二十八日、まちづくり協議会クローバー会長・高橋 良氏と、宮原商工会会長・赤間正勝氏が、つばさ小学校を訪問して、近 範子校長先生、宮原 孝教頭先生に学校を案内していただきました。



環境とバリアフリーに配慮した施設

校舎が入ってすぐ目に飛び込んでくる電光掲示板は、屋上に設置された太陽光発電パネルの発電量が表示されています。体育館と校舎の屋上は緑化され、鮮やかな彩りでセタム類が繁茂していました。さらに、便所洗浄水と校庭散水には雨水利用がされており、まさに環境配慮型の校舎でした。床面は段差ゼロ。車椅子利用者や負傷時にエレベーターが設置されており、各階に誰もが利用できる多目的トイレまであるという、福祉型の施設でもありました。



多様な学習活動への対応

ワークスペースやパソコンルームが用意され、すべての教室には50インチの可動式プラズマディスプレイがあります。これらの最新設備は、ネイティブの教師による英会話授業などでもフルに活用されることでしょう。



元気で明るい子供たち

近校長先生は、三つの小学校が合流して誕生したことの影響を懸念されたようですが、「元気で明るい子供が多くとてもうれしい」と話されました。校内を見学する私たちにも、大きな声でみんなが「こんにちは」と挨拶してくれました。「つばさ小学校を卒業してよかったと思ってもらえるような学校づくり」を目標とされる近校長先生。私たちまちづくり

### 聖学院大学でほたる祭り

六月十二、十三日夜、聖学院大学で「第5回ほたる祭り」が開催されました。大学内のピオトープで六年前から飼育しているゲンジボタルを地域の皆様にも観賞してもらおうと、学生が中心になって企画しました。毎年参加者も増え、今や初夏の風物詩として知られる名物イベントです。今年も二日間、1000名の来場者があり、聖学院大学聖歌隊、聖学院大学フィルハーモニー管弦楽団の演奏や、ほたるについて学ぶ「ほたる劇場」などのパフォーマンスで楽しんだ後は、ほたるの飛翔を観賞。実行委員長渡辺隆平さん（コミュニティ政策学科三年生）は、「準備は大変だったけれど、ほたるも沢山飛び、地域の皆様や子供たちに喜んでくれたのがとてもうれしかったです。」と話していました。今ではホタルを見たことがある人もめっきり少なくなっているとか。美しいホタルの飛翔を見ながら、身の回りの水や緑の環境に思いを馳せてみてはいかがでしょう。



### カルソニックカンセイ訪問記

#### ◆お帰りのさい、私たちのまちへ◆

長い年月私たちのまちの工場として住民に親しまれてきた「関東精密株式会社」が、「カルソニックカンセイ株式会社」の研究開発センター・本社として、二〇〇八年五月、再び地域の一員として帰って来られました。周辺開発も終わり、新しい街が登場した今、ご挨拶と会社見学にお伺いしました。



左より、赤間商工会長、毛塚康弘氏、高橋クローバー会長

総合自動車部品メーカーとしてグローバルな事業を展開されている「カンセイさん」は、建物も大変機能的なデザイン。すっきりと清潔そのものの社内を案内して下さったのは、組織活性化本部・シネラルサポートグループ・シニアスタッフの毛塚康弘氏です。

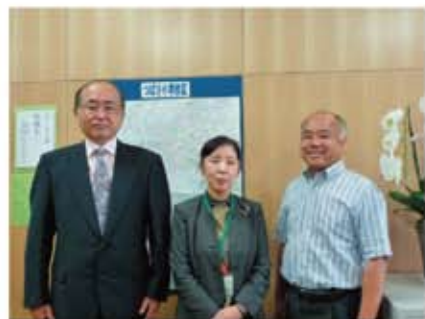
熾烈な技術開発競争の世界に身を置く一方で、社会とのコミュニケーションをミツシヨンの一つに掲げ、工場のある地域で地域貢献活動を行っているそうです。例えば、群馬工場では利根川の清掃活動をしたり、その他幹線道路に花を植えたり、地元小学



生を社会科見学で受け入れられたり、海外では、スペシャルオリンピックスに選手を派遣するための募金活動を実施したりと、幅広く地道な活動を続けてこられています。「製品展示室」をご案内いただきながら、これからの課題として、当地でも地域とのふれあい活動を考えたいというお話をうかがうことが出来ました。ふと建物の窓からつばさ小学校方面を見やると、下校時の児童たちが、会社の連絡通路の下をぐぐり抜けていく姿が見えました。最先端技術を誇る企業と小学生たちが、このように何気なく交錯するおらかさは、こころ和む光景でした。社屋の中に入ってみることもできるそうです。写真のようにお洒落なカフェレストランが1階にあるので、ゲート入り口でチェックを受け入れることも出来ます。まちと企業との付き合いも、こういう小さなことから、少しずつ距離を縮めていくことができるのではないかと思います。

### 市長を迎えて街びらき

日進東土地区画整理事業が終了し、相川宗一（前）市長をお迎えし、平成二十一年一月二十七日、街びらきが行われました。関係者一同によるテープカットで、めでたく新しい街が誕生しました。



左より赤間商工会長、近校長先生、高橋クローバー会長

協議会クローバーも、宮原西商工会とともども、地域の一員としてできることからご協力させていただきたいと考えます。いつまでも子供たちの笑顔と弾む声が溢れるつばさ小学校を地域ぐるみでつくっていききたいですね。

### 多機能型事業所「野種」開所

宮原西口ではお馴染みとなっていた「ひびき」が、「織の音工房」と合併し、新たに多機能型事業所「野種（のだね）」としてスタートしました。今後も利用者が自立して生活でき、社会参加へと繋がることを願って、事業活動を進めていけるそうです。私たちも地域の仲間として応援していきたいと思ひます。



「まちづくり協議会クローバー」二〇〇三年四月発足の宮原西口地域まちづくり協議会を前身とし、二〇〇五年八月に、より幅広い活動を目標として改称した市民組織です。「この地域をすべての住民にとって住みやすいまちにしたい」という願いのもと発足されました。現在の会員は、宮原西口商工会、宮原町三丁目自治会、日進町三丁目自治会、日進町三丁目子供育成会、聖学院大学、聖学院大学校友会、NPO法人コミュニティ活動支援センター、多機能型事業所「野種」、JR宮原駅、埼玉信用金庫です。